

HTEC TIMES

Honda Technical College kansai

学校法人ホンダ学園
ホンダ テクニカル カレッジ 関西

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者
校長 澤田 武美

ホームページ・ケータイ サイト
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

QRコード対応
ケータイで
簡単アクセス!



ホンダ学園祭 2013

『チャレンジ!!』開催!

10月26日(土)、ホンダ学園祭を開催しました。ホンダ学園祭は、今年で12年目を迎え、大人から子どもまで誰もが楽しめ、身近で親しみのある学園祭として、毎年数多くのお客さま、保護者の皆さまに参加していただいています。

学園祭当日は、盛りだくさんのイベントや模擬店で盛り上がりました。自動車専門学校の特徴を活かした整備技術の正確さとスピードを競う「技術コンクール」や、二輪整備同好会による本番さながらのド迫力の「8耐ビットデモ」、ホンダガレージでは、学生が来場者の方々に展示されたホンダ車の良いところや交換部品の説明を行いました。

特に人気を博したのは世界レベルのライダーによる「トライアルバイクショー」で様々なアクロバティックな技が披露され、拍手喝采の大盛り上がりとなりました。

飲食系模擬店は、焼きそばやたこ焼きなどが次々と売れて行き、参加型模擬店では射的やキックターゲットなどが子ども達に大人気でした。

模擬店の売上の一部は大阪狭山市の地域福祉に役立てていただけるよう寄付を行います。

楽しいイベントや模擬店でご来校くださった皆さまに楽しんでいただきました。ご来校ありがとうございました!



プロの技で観客を魅了した「トライアルショー」



工具の展示販売など、学生に大人気で興味深く見ていました



迫力満点! 本番さながらの「8耐ビットデモ」



模擬店では美味しさをアピール



色々な曲で学園祭を盛り上げた校内ラジオ放送



参加型模擬店の射的では的に命中させるのに夢中

自動車研究開発科 第11回 全日本学生フォーミュラ大会



マシンとともにメンバー全員で記念撮影



オートクロスでタイムアタック



自動車研究開発科2年生は静岡県エコパで開催された「第11回全日本学生フォーミュラ大会」に参加しました。この大会は公益社団法人自動車技術会が主催、国内自動車メーカーもバックアップして行なわれる学生の「ものづくり育成の場」として実施されている大会です。今年も全国の大学生を中心に77チームがエントリー。前年のマシンの改良で出場して大学とは違って、本校は各学年で毎年ニューマシンを製作し大会に出場する為、静岡移動の出発前ギリギリまでセッティングをして大会に臨みました。

大会前半のコスト審査やプレゼンテーションを見事クリアし、車検に臨みましたが、ブレーキテストに手間取り車検合格したものの、大会スケジュールの関係で「アクセラレーション」「スキッドパッド」には参加出来なくなりました。しかし、最終競技の耐久性や燃費を競う「エンデュランス」に何とか出場する為、最後までマシンのセッティングを試みて、テクニカルコースで車両の総合性能を競う「オートクロス」に挑みましたが規定タイムに及ばず、残念ながらここで競技終了となりました。

総合成績は参加77チーム中61位と学生にとっては悔しい結果となりました。マシン製作が大幅に遅れて、十分な練習走行も出来なかったことが原因ですが、学生は本番で非常に多くの事を学び大会を通して大きく成長したと思います。

今後はこの経験を活かして、車両の課題を克服し来年6月のアメリカ大会を目指して頑張ります。

自動車整備科 ● 一級自動車整備研究科 ● 自動車研究開発科 Honda原点ライブラリー講話



真剣に講義を聞く学生たち

10月23日(水)全科1年生を対象に、本田技研工業(株)総務部原点ライブラリーBLの松澤様・山崎様をお迎えして「Honda原点ライブラリー講話」を開催しました。

「喜んでもらう為に夢に向かって最善の努力をする」

Hondaが創業以来、夢の実現と高い志を原動力に企業活動を展開し、世界中の人々と喜びを分かち合いながら、お客様や社会との信頼を築き、着実に成長・進化を成し遂げてきました。その原点である創業者の本田宗一郎、藤澤武夫が残した数々の言葉は今もなお人々に語り継がれています。

今回の講話は、将来Hondaグループで活躍する学生にとって必要な「HondaのDNA」を理解すると共に、目標を持って実践・行動する事の重要性を学んだ貴重な講話でした。

また、講話に合わせて1号館1階ロビーには、Honda初の四輪車T360が展示されました。T360は商用軽トラックとはいえず、日本初のDOHCエンジンを搭載。しかも、そのパワーユニットをミッドシップにレイアウトすることで、軽トラックとは思えない高い運動性能を実現しました。

一級自動車整備研究科 プロの技「ホンダ四輪サービス技術コンクール近畿大会」を見学



作業のスピード・正確性が要求されるSEコース

7月19日(金)、本校で開催された「ホンダ四輪サービス技術コンクール近畿大会」を見学させていただきました。この大会は、ホンダカーズのメカニックとフロントスタッフが、サービス技術力・整備知識や接客能力等を競い合い、尚、層のレベルUPを図る事を狙いとして毎年本校で開催されています。

競技種目は、故障診断の診断作業のスピード・正確性を競う「サービスエンジニア(SE)コース」、店頭での電話応対・商品知識・アドバイス能力を競う「フロントスタッフ(FS)コース」、お客様からのご用命事項から故障診断・整備技術を総合力で競う「法人コース」の3種目で実施されました。

見学した学生は「プロの技」を目の前で見、将来の自分の目標を思い描き、明日からの授業に取り組みモチベーションUPにつながる貴重な1日となりました。